

## 【別紙 12】

### 道路関係設備管理業務特記仕様書

#### 1 道路排水設備管理

##### (1) 目的

道路排水設備管理とは、JR呉線皆実アンダー（市道皆実88号線）に設置された排水設備の維持管理に関し、点検・保守を適切に行い、排水設備の機能を適切な状態に維持することを目的とする。

##### (2) 業務内容

###### ア 点検業務計画書の作成・提出

受注者は、事前に点検業務計画書を作成し、三原市に提出するものとする。

###### イ 月点検

受注者は、別表 1 に示す排水設備について、点検業務計画書及び点検表に基づき 1 月に 1 回点検を行うものとする（6 月を除く）。

###### ウ 年点検

受注者は、表 1 に示す排水設備について、点検業務計画書及び点検表に基づき 1 年に 1 回、6 月に点検を行うものとする。また、計測機器等を使用した点検項目について、経過的な変化を管理し、装置や機器等の劣化状態を把握するため、トレンド管理を行うものとする。なお、トレンド管理に必要な管理表は三原市から別途貸与する。

###### エ 報告書の作成・提出

受注者は、各点検が完了したときは、遅滞なく完了報告書を作成し、三原市に提出するものとする。

##### (3) 管理に係る資格要件

###### ア 一般事項

受注者は、管理技術者を定め、本業務に関する一切の事項を処理するものとする。

###### イ 要件

管理技術者は、業務の履行に関し、技術上の管理をつかさどるに必要な知識と経験を有する技術者で、次の「発注者が認める資格またはこれと同等の技量を有する者」とする。ただし、専任は求めない。

なお、点検を行う者の資格要件は点検業務計画書で提出すること。

###### (ア) 発注者が認める資格

- ・ 1 級若しくは 2 級ポンプ施設管理技術者

- ・技術士（機械部門）
- ・技術士（総合技術監理部門-機械に係わる科目）

（イ）これと同等の技量を有する者

機械器具設置工事業に係わる設備の製作・据付または点検整備に関して、実務経験年数が次のとおりの者とする。

学歴	必要な実務経験年数	
	指定学科を修めた者	指定学科以外の者
大学卒業後	3 年以上	5 年以上
短大・高専卒業後	3 年以上	8 年以上
高校卒業後	5 年以上	12 年以上
その他	15 年以上	

なお、ここでのいう指定学科とは「機械工学に関する学科」とする。

#### （4）その他

ア 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

機械設備点検・整備共通仕様書（最新版・広島県）

イ 本業務に係る費用については受注者負担とする。ただし、実施状況により、疑義及び相違が生じた場合は、三原市と協議するものとする。

表 1 道路排水設備管理 排水設備一覧表

	設備	月点検	年点検
1	主ポンプ（φ200×3 台）	○	○
2	ピット排水ポンプ（φ80×1 台）	○	○
3	吐出管	—	○
4	仕切弁	—	○
5	逆止弁	—	○
6	ポンプ制御盤	○	○
7	水位計	—	○
8	除塵設備	—	○
9	引込開閉器盤	○	○
10	受電部（引込柱、ケーブル等）	○ ※引込柱のみ	○
11	ポンプ室内照明器具	—	○
12	ポンプ槽	—	○
13	流入路、排水路	—	○

## 2 道路情報表示板管理

### (1) 目的

道路情報表示板管理とは、JR呉線皆実アンダー（市道皆実88号線）に設置された道路情報表示設備の維持管理に関し、点検・保守を適切に行い、道路情報表示板の機能を適切な状態に維持することを目的とする。

### (2) 業務内容

#### ア 点検業務計画書の作成・提出

受注者は、事前に点検業務計画書を作成し、三原市に提出するものとする。

#### イ 総合点検

受注者は、表2に示す項目について、点検業務計画書及び点検表に基づき1年に1回、6月に点検を行うものとする。

#### ウ 個別点検

受注者は、表3及び表4に示す項目について、点検業務計画書及び点検表に基づき1年に1回、6月に点検を行うものとする。また、計測機器等を使用した点検項目について、経過的な変化を管理し、装置や機器等の劣化状態を把握するため、トレンド管理を行うものとする。なお、トレンド管理に必要な管理表は三原市から別途貸与する。

#### エ 報告書の作成・提出

受注者は、各点検が完了したときは、遅滞なく完了報告書を作成し、三原市に提出するものとする。

### (3) 管理に係る資格要件

#### ア 一般事項

受注者は、管理技術者を定め、本業務に関する一切の事項を処理するものとする。

#### イ 要件

管理技術者は、業務の履行に関し、技術上の管理をつかさどるに必要な知識と経験を有する技術者で、次の「発注者が認める資格またはこれと同等の技量を有する者」とする。ただし、専任は求めない。

なお、点検を行う者の資格要件は点検業務計画書で提出すること。

#### (ア) 発注者が認める資格

- ・技術士（機械部門）
- ・技術士（総合技術監理部門-機械に係わる科目）

#### (イ) これと同等の技量を有する者

機械器具設置工事業に係わる設備の製作・据付または点検整備に関して、実

務経験年数が次のとおりの者とする。

学歴	必要な実務経験年数	
	指定学科を修めた者	指定学科以外の者
大学卒業後	3 年以上	5 年以上
短大・高専卒業後	3 年以上	8 年以上
高校卒業後	5 年以上	12 年以上
その他	15 年以上	

なお、ここでの指定学科とは「機械工学に関する学科」とする。

#### (4) その他

ア 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

電気通信施設保守業務共通仕様書（最新版・広島県）

イ 本業務に係る費用については受注者負担とする。ただし、実施状況により、疑義及び相違が生じた場合は、三原市と協議するものとする。

表 2 道路情報表示板管理 総合点検項目一覧

	確認事項の概要	
1	運用者等からの確認及び報告等	
2	総合警報動作の確認	水位検知器（冠水）
		自動通報装置
3	総合停電時動作の確認	
4	図書類・予備品等の確認	

表 3 道路情報表示板管理 個別点検項目一覧

路面冠水表示板	1	表示部の確認	
	2	電源電圧等の 確認	
	3	見え方の確認	
	4	動作の確認	機側操作
			調光動作①
			調光動作②
			故障表示動作
	5	接続部の確認	
	6	据付状態の確認	
	7	表示部の汚損状態確認	
	8	機器本体の清掃等	

	9	ランプテスト	
	1 0	据付状態の確認	
	1 1	手元優先試験	
	1 2	支柱本体・基部の確認	
	1 3	横梁本体の確認	
	1 4	横梁溶接部・継手部の確認	
手元操作盤	1	接続部の確認	
	2	手元操作盤操作試験	
	3	据付状態の確認	
	4	機器本体の清掃等	
路面冠水制御盤	1	操作部の確認	
	2	電源電圧等の確認	
	3	蓄電池の確認	
	4	動作の確認	機側操作
			故障表示動作
			インバータ電圧
			雷サージ保護機能
	5	自動通報試験	
	6	接続部の確認	
	7	絶縁抵抗の確認	
	8	接地抵抗の確認	
	9	据付状態の確認	
	1 0	機器の清掃等	

表 4 道路情報表示板管理 個別点検項目一覧

赤色回転灯	1	回転灯動作の確認	
	2	電源電圧等の確認	
	3	据付状態の確認	
	4	機器本体の清掃等	
水位検知器	1	検知器の確認	
	2	据付状態の確認	
	3	機器本体の清掃等	
	4	検知器の確認	